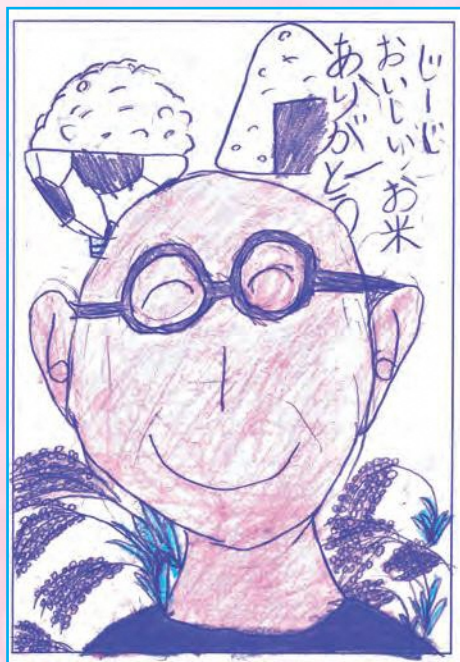




君が好き! あなたが大事!



大正小学校 三年 芦田 仁愛



福知山幼稚園 四歳児 佐古田 明奈

「家族だんらんの日」にちなみ、家族や地域への思いや大切な人へ、日頃伝えられない気持ちを「手紙・作文・標語」として募集し、応募点数一九五九点の中から六十九点（手紙・作文四十一點・絵手紙七點・標語二十一點）を選考し、文集としてまとめました。

第九回市民公募

「家族だんらんの日」手紙・作文集



修音小学校 一年 金森 心寧



雀部小学校 一年 橋本 柊助



昭和小学校 二年 盛田 凜



美河小学校 一年 沖田 大和



大正小学校 六年 田中 一伽

◎「家族だんらんの日」ってなんだろっ?
「家族だんらんの日」は、家族の絆・人と人との絆・地域の絆を確認し合い、次代の福知山を担う子どもたちの健全育成を市民総がかりで推進する取組として策定しました。
ここでいう家族とは、「人類みな兄弟」という言葉があるように、地域社会の人々をも家族と捉えています。

◎「家族だんらんの日」の取り組み方は?
一人一人が大切な存在であり、人と人がつながり合っていることを認識し合える、そんな「家族だんらんの日」になればどんな取組でも結構です。

明日の福知山を担う子どもたちの育成や、住んで良かったと思えるまちづくりにつなげるため、皆様一人一人の御協力をお願いします。

「家族だんらんの日」で思う

本誌の作成にあたり、数多く御応募いただきました作品の選考に御協力いただいた、こだま教育研究員の方々から「家族だんらんの日」に思う、と題して寄稿いただきました。

「家族だんらん」という言葉は私にとって、心地よい響きである。

働き者の父、料理上手な母、世話好きの姉由気ままだった私の四人家族。夕食はいつも全員揃って「いただきます」。父は気難しくて頑固親父、でも夕食の時間は顔がほころんでいた。その表情を見て姉も私も自然と笑顔になり会話が弾んでいた。家族四人で食卓を囲んでいた幼い頃は正に「家族だんらん」の時間だった。時が経つのも早いもので、私も結婚し、今年で二十八年目を迎えた。今は日々の忙しさに追われ、家族で食卓を囲むことが少なくなり、年老いた母を横目に、一人で食事をすることもある。その度に、もっと母に料理を習っておけばと後悔する。

今後は、幼少の頃のように楽しく食事を楽しみたい。寺内貴太郎一家のように……。

令和二年は今まで当たり前前に思っていたことが、当たり前ではないと気付かされた一年だった。大きな行事などの節目に職場の仲間と会食をして労い合ったり、お盆やお正月などに親戚が集まって食事をしたり、毎年当然のこととして行っていたことが、全くできなくなってしまう。離れて暮らす子どもたちや高齢の母と会うことも難しくなり、ソーシャルディスタンスや三密を意識する日々。



「家族のきずな」

夏休みの時、おべん当の時間にいつもおいしいおべん当を作ってくれるお母さんにわたしもおいしいごはんを作ってあげたいなと思いました。お父さんには毎日めんどうをみてもらってかんしゃしています。お父さんはわたしにおくる時があります。とうとうお盆のとき聞いたら、「人はおいられつたことさね。」と言ってくれました。大切な家族のきずなはみんなぞ守ろうと思いました。

雀部小学校 三年 大槻 咲羅

お母さん、いつもぼくと弟のめんどうを見てくれて、ありがとう。いつもぼくと弟のせいでよくつかれさせたり、こまらせたり、手をやかせていますが、ぼくもいまできるかぎりのことはやります。

この前、ぼくがたらこパスタを作った時、弟が三回おかわりして正直びっくりしたけど、うれしかったです。それでまた作りたいと思いました。それがお母さんのお手伝いになったらしいな。

お母さんへ
修育小学校 三年 古郡 太一

ありがとう

わたしのために しかってくれて

遷高小学校 四年

大槻 葵唯

夕食後 家族そろっておさん歩へ

今日の出来事 発表会

上豊富小学校 四年

石坪 海郁羽

宝物

家族とお出かけ ハッピータイム

夜久野小学校 五年 居相 咲希

お父さん勝手にエアコン消さないで

ぼくは書いてもらえない

夜久野小学校 五年

橋本 恵都

お母さんいつもやさしさありがとう

これからぼくが恩返し

大正小学校 六年

人長 大翔

こまったこと

家族に話そう かかえずに

成仁小学校 三年 松井 友惟

パパ うぐいすとびばい

ひみつきち色々作ってくれて

ありがとう

三和小学校 三年 波多野 愛夏

お母さん 大好きだけども

言えないや

大正小学校 四年

西元 翔輝

ぼくははね 家へ帰りたい時間だよ

育てくれて ありがとう

雀部小学校 四年

水谷 蒼空

家族みんなで わらえば楽しい

おうち時間

雀部小学校 四年 塩見 隼仁

ぼくは、ママがそつめんをつくってくれるときに、よくスクランブルエッグを作っています。

ママは、ぼくが作ったスクランブルエッグを食べたときに、「このスクランブルエッグめっちゃおいしねんけど。」と言ってくれたのでうれしかったです。また、次回もぼくの作ったスクランブルエッグを食べ、「いつもこんなにおいしいスクランブルエッグをありがとう。」と言ってもらいたいです。

昭和小学校 三年 小川 天音

「いつもやってくれている家族へ」

いつもがんばってくれてありがとう。わたしのためにごはんを作ってくれるお母さんが大好きだよ。お父さんは、家族のためにはたらいしてくれてとても感しゃしているよ。そんな、お父さんとお母さんが大好きだよ。でも、たまにこわいときもある。だけど、しかってくれるから、大きくなっていく。だから、たくさんしかってね。妹はかわいくてわがままだけど、たくさんわらって、家族をたくさん元気に、えがおにしてくてる妹が大好きだよ。

雀部小学校 三年 越後 紗代



「家族でいった動物園」

きよ年の秋ごろ、あまり行かない動物園に、家族で行きました。まず、お父さんとお母さんが、モルモットにえさをやってしゃしんをとりました。

次に、やぎのような動物を見つけました。その動物がしたを出したとき、お父さんとお母さんは、わらっていました。それにわたしも、ついわらってしまいました。

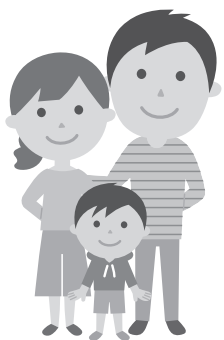
そのときにわたしは、楽しい家族に生まれてうれしいなあと思いました。

雀部小学校 三年 匿名

「大切な人へありがとう」

ぼくはよくおばあちゃんの家に行きます。おばあちゃん、朝よくごはんやおべん当を作ってくれます。買い物にもつれて行ってくれます。いつもおかしを買ってくれます。それでありがとうの気持ちでこめて自分の作った野さいをあげました。おばあちゃんのうち山は山の近くで、しかがくるから野さいが食べられます。だからコップできゅうりをそだてました。せんぶで四本になりました。いつもきゅうりにありがとうって言いそだてました。おばあちゃんにありがとうが伝わったと思います。

雀部小学校 三年 榎並 大地



「お父さんへ」
 ぼくのお父さんは、たん身ふにんでなかなか家にいません。ぼくは、悲しくて泣く時もあります。でもお父さんは、家族のために一生けんめい仕事をがんばって来ています。お父さんは、一ヶ月に一回帰ってきます。ボール遊びをしたりお風呂の中でお話したりモノマネ遊びをしている時間がほくは好きです。家にいる時間は少ないけれど、仕事をがんばっているすがたは、カッコイイし大好きです。

修善小学校 三年 佐藤 海秀

「お父さんへのありがとう」

お父さんが仕事をしてくれているからいろんなものが買えます。
 お父さんがお話をしてくれているからえがおでいられます。
 お父さんが遊んでくれるから楽しいです。

本当ははずかしくて言えなけれど、たぶん「ありがとう」と言いたいです。

遷喬小学校 三年 山口 伊吹

「お母さんへ」
 お母さん、お父さんいつもやさしいことばかりしてくれてありがとう。そのおかげでいつもとてもうれしいです。わたしは、お母さん、お父さんがとても大好きです。すぐおこったりすぐわがままになったりするわたしをうんでくれてありがとう。お母さん、お父さんはいいところがいっぱいあります。いろいろなことありがとう。これからもわたしのことをよろしくね。

惇明小学校 四年 樋口 遙

「パパへ」

いつも家族のため仕事をおそくまでがんばってくれてありがとう。今は大へんな時期なのに、マスクをしていっぱい動くのはすぐつかれるのに、ありがとう。朝もはやいから体をこわさないようにしてね。夜ごはんもいっしょには、食べられないけれど、わたしも手伝いをいっぱいしています。

惇明小学校 四年 馬谷 瑞希



「大切な人へ」ありがとう「私よ」
 ぼくの大切な人は「友だち」「いとこ」など、たくさんいますが一番ありがとうを伝えたいのは、家族です。なぜなら、お父さんは仕事をがんばってしてくれているし、お母さんは、毎日朝ごはんをつくってくれているし、お姉ちゃんはやさしくしてくれているし…。他にもいっぱいあります。つまり、ぼくは、家族が何かをしてくれるから、ありがとうを伝えたいです。また、してもらっただけじゃなくぼくも手伝いなどをし、おたがいにたすけ合いながらいきたいです。

惇明小学校 四年 吉川 真白

「妹のうたへのありがとうの気持ち」

私の妹として、生まれてきてくれてありがとう。私も、うたのお姉さんになれて、とってもうれしいよ。うたは、私が泣いているとき、おこっているとき、どんなときでも、私をなぐさめてくれました。うたと遊んでいると自然と笑顔になっていつもいつも楽しいよ。これからも、元気に楽しむときは楽しんで、悲しむときは悲しんで、おこるときはおこって一生懸命一緒にがんばらな。

惇明小学校 四年 市川 紗也

標語の部

ゲームストップ
 みんなでおはなしたのしいじかん

遷喬小学校 一年
 島村 大和

かわのじで うしもないくね
 おんじわで

上豊富小学校 一年
 足立 翔太

かぞへむねむすびごと
 あごれしをこめ

成仁小学校 一年
 小池 花音



かぞくみんなのえがおが
 一ばんだい好きです

三和小学校 一年
 篠田 愛鶴姫

えがおでね
 むかえてくれる あんしんかん

大正小学校 二年
 石田 美初

しゅくだいしなさいと言われても
 楽しい弟とあそぶ時間

遷喬小学校 二年
 伊藤 悠太

みんななかよくけんかしても
 なかなおり

成仁小学校 二年
 山本 瑞



おかあさんのごはん
 わいわいおいしいな

成仁小学校 二年
 三神 舞奈

大すきな 家ぞくみんな
 あじまる日曜日

遷喬小学校 三年
 高橋 来斗

おかあさん うしもありがとう
 言うきれないほどありがとう

六人部小学校 三年
 片岡 桃花

家族みんなへ
 いつもわたしをきいてくれて
 ありがとう

六人部小学校 三年
 井上 朋美



ぼくは日曜日にリコーダーで「宿命」を練習しました。練習しているときにお父さんが来たので、リズムがわからなかった所は教えてもらいました。でも、お父さんがわからなかった時は、話し合ったり、パソコンで調べたりして協力しました。そうしていくうちに、難しかった所が少しずつできるようになっていきました。これからも、わからない所があったときは、家族と協力したいし、「宿命」をふけるようにがんばりたいです。

成仁小学校 六年 大谷 尚樹

短縮四時間の日の帰った後、家の中はシーンとしていて、お昼ご飯の時、弟たちといっしょに食べました。
どこかで見たら、「家族のぬくもりであったまる食事」とは、「家族といっしょに食べるからこそ、おいしくなる」という意味かなと気づけました。弟と食べるのも、一人で食べるのもいいけれど、やっぱり家族そろって食べたほうがおいしいので、だんらんをこれから増やそうと思います。

成仁小学校 六年 矢敷 和紗

「家族との時間」

ぼくが家族との時間で一番好きな時間は家族みんなで出かける時です。今はコロナウイルスがはやっていているけれど、また落ちついたら家族みんなでいろんな所に出かけたいです。ぼくがその時間が好きなのは、みんなで楽しめるからです。みんなで楽しい所に行く人と人数が少ないより楽しいです。また、車の中とか移動中にもみんなで話せて楽しいからです。コロナが終わったらみんなで出かけたいです。

夜久野小学校 六年 前田 仁汰

「楽しいな時間」

私は、家族と過ごす時間は、一番、夜ごはんが楽しみです。理由は、いろんな事を話せてとても楽しい時間になるからです。また、夜ごはんは、家族で食べるので、さらにごはんもおいしくなっていて、笑顔があふれるからです。なので、早く夜になれ！とよく思っています。そして、夜になるとよっしゃーと思います。みんなで食べる夜ごはんを、これからも大切にしていきたいです。

夜久野小学校 六年 高橋 蒼空

お母さんは毎日、せんたくものをほしくてくれてありがとうございます。いつもたいへんだけどがんばってくれてくれしいです。ごはんもとてもおいしいです。毎日ごはんを作ってくれてありがとう。たいへんだけどわたしのためにうごいたりはたらいたりしていてもたいへんそうです。いつもたいへんだからこれからたくさんお手つだいをしてお母さんが少しでもらくにすごせたらいいな。いつもしてくれていてたいへんだけどこれからもお手つだいをするのでよろしくおねがいします。

昭和小学校 四年 牧 愛璃



「家族みんなで作った野菜」

コロナで休校中、家族みんなでプランターに野菜を植えました。トマト、ナス、ピーマン、きゅうりです。野菜が大きくなってやっとしゅうかくできたときは、家族全員大喜びでした。
とれた野菜は、すあげにして家族みんなでカレーにして食べました。みんなで大切に育てた野菜入りカレーはとてもおいしかったです。

大正小学校 四年 堀井 彩葉

私のスーパーヒーロー！それはおぼあちゃんです。ただのおぼあちゃんじゃありません。八人家族と一匹の犬と私も世話しています。もつとすごい事は一人で家事をしていることです。おぼあちゃんはずっと忙しいのに、一人一人を大切に育ててくれます。忙しくても遊んでくれるし、やさしくいつも笑顔で「すごい！」「すごい！」と言ってくれます。数え切れないほどのありがとう！私もいつかおぼあちゃんみたいになりたいです！

上豊富小学校 四年 清水 綾乃

私は絵をかくのが好きです。なのでよく絵をかきます。でも、絵は姉の方がもっと上手で、リビングで、二人そろって絵をかくこともあります。絵をかく様子を見て、お父さんが、スケッチ用のペンを買ってくれました。それからは、絵がやさやかになり、お母さんがリビングにわざわざくれるようになりました。それに、絵のおかげで、家族でのかいわのはばが広がりました。

成仁小学校 四年 柴田 詩



「世界一の宝物」

私は、いつも仕事をがんばり勉強を覚えてくれるお父さんと、いっしょには暮らしてないけれどときどき会ったときにやさしく「おはよう」と言ってくれたりするんなものを買ってくれたりするお母さんと、いつもやさしいおじいちゃん、みんなを支えてくれるおぼあちゃん、みんなみんな大好きです。私の世界一の宝物です。

美河小学校 六年 織田 桜羽



わたしは毎年、家族でキャンプに行きます。今年も、夏休みにキャンプへ行きました。キャンプへ行ったら、みんなできょう力して、ご飯のじゅんぴをします。家族四人で、外でいろいろな話をしながら食べるご飯は、すごくおいしかったです。
ねる時は、ねむたくなるまでみんなでわいわい話ながらねました。
キャンプへ行くと、家族でよく話すことが多いので楽しいです。

成仁小学校 四年 足立 心音



「大切な家族」

ぼくは、仕事をがんばってくれているお父さん、家のことをがんばってやってくれているお母さん、けんかもたくさんあるけれど、たくさんわらう妹とお兄ちゃん。ぼくは、思い出せばいいの家族にかまれて、いつも幸せです。お父さん、仕事をこれからも、いつまでも、がんばってね。お母さん、これからも家のことをがんばってね。妹もお兄ちゃんも、たちどまったときいっしょにがんばらあおうね。
「みんな、大切」

三和小学校 四年 西村 陽

私は、いつもあまりお手伝いをしていないけれど、お母さんやお父さんなどが毎日やってくれているから、「ありがとう」と思いました。それで、お母さんやお父さんがやっていることをやると、とても大変で、楽しいこともあったけど、みんなはとても大変なことを自分はいやがると思うけど、せんせいやがらないでやってくれていることをありがたいなあと思いました。なので私も、どんどんおつたいをやっていって、みんなをゆっくりさせてあげようと思います。

昭和小学校 五年 井上 陽愛

私は、家族と過ごす時間が増えたので、いっしょに遊んだり、ご飯を食べたりすることが多くなりました。いつもは、家族みんなで遊んだり、ご飯を食べたりすることが少なかったです。いっしょに遊んだり、ご飯を食べたりすることで、家族との会話が増えて前よりも仲良くなってきた気がします。この期かんに、みんなでやると何でも楽しいなと改めて感じました。これからも家族と過ごす時間を大切にしたいと思います。

修音小学校 五年 田村 朱莉

「両親へ」
お母さんは、いつも仕事でつかれているのに私のおくりむかえや、家族の料理を作ってくれてありがとう。わがままも聞いてくれてありがとう。

お父さんは、家のために仕事をしていて、家族を笑わせて、場を明るくしてくれます。いつも笑顔でいてくれるので、私も笑顔になります。これからもそのままいてほしいです。

修音小学校 五年 塩谷 虹羽

「仲良し親子」
「お父さん、いっしょに遊ぼう！」
私は、よくお父さんと遊びます。晴れの日にはボール遊びや公園に行き、雨の日には、トランプやオセロをします。

私とお父さんは、とても仲が良いです。いっしょに遊ぶだけじゃなく、お手伝いしたり、散歩にもいっしょに行ったりします。
こんなふうに、仲良く過ごしていたら、お父さんのことが好きになりました。だからこれからも、いっしょに過ごしたいと思います。

修音小学校 五年 林 莉茄

お母さんいつもありがとう。
毎日のご飯に洗濯もして、休みの日にはどこか入つれていってくれてありがとう。私は、いつも笑顔でみんなのことを楽しませてくれるお母さんが大好きです。私が落ちこんでいるときには、そばに寄りそってあたたかい言葉をかけてくれる、いけないことをしたときはしっかりとおこってくれる、私のことを一番に考えてくれる、たくさんほめてくれるお母さんのいいところは書ききれないくらいあります。

遷高小学校 五年 山下 紗莉奈



私の家族は、全員お笑いが好きです。とくによく見ているお笑い番組は「有吉の壁」で、毎週、かかさず見ています。どの芸人さんもおもしろく、家族みんなで仲良く笑っています。

こうやって家族と笑い合える時間が、私にとっての家族だらけです。これからも、この時間がつづけばいいなと思います。

成仁小学校 五年 三嶋 絵美里

「家族の思い出」

私の家の庭に家族で畑を作りました。「口ナでどこにも行けないから作りました。」

私の家族五人で作った畑にはとても栄養のある野菜や果物がたくさん実っています。その実っている野菜や果物を見ると、私達は家族で畑を作ってよかったと思います。

畑を作って食べるまでの道のりは長いけれど畑になった野菜を見るととてもうれしい気持ちです。家族だらけんをしてよかったです。

成仁小学校 五年 田村 琉蒼

ぼくの家族は、お父さん、お母さん、兄と弟とぼくの三兄弟だ。兄と弟とは、毎日のようにケンカをしている。でも最後はすなおに仲良く仲直り。習い事や勉強で、つまずいてしまえば、どんなにつらくても、家族の「がんばれ」の一言でがんばれる。ただ、「ありがとう」がはずかしくてどうしても言えない。次は絶対に言いたい。それに、「ケンカするほど仲がいい」と言っているので、家族のみんなは、どの友達よりも仲がいいのかもしれない。

三和小学校 五年 水谷 元太

最初は、お母さんにいろいろな家事をしてもらっていたけど、いざ自分でやってみると、そうじ機をかけることは出来たけど、せんたく物をたたむことが、お母さんだったら「せんたく機」で出来るけど、自分がやったら、「もたもた」としてしまいました。その時に、やっぱりお母さんでとてもすごいし、家族のスーパーヒーローだなと思いました。これからは、やってみらうのが当たり前だと思って何も言わずにやってみらうのではなく、感謝の気持ちを伝えたいです。

昭和小学校 六年 岩城 乃愛

「ぼくが住んでいる地域の人」

ぼくが住んでいるところは、昔から住んでいる人が多いのでラジオ体操のときおじいさんおばあさんも参加してくれます。ぼくは、その人達の名前は知りませんが、ぼくに笑顔であいさつをしてくれます。

このように、おもいやりができる人達がたくさんいるので、ぼくは、この地域が好きです。

大正小学校 六年 芦田 篤生



「お母さん、お父さんへ」

この日常をおくれているのは、お母さん、お父さんのおかげだよ。いっしょのご飯、このえんぴつ。お母さん、お父さんが汗水たらして働いてくれるから私が今、学校に通えています。お母さんはいつもいそがしいのに送迎してくれます。お父さんは仕事で疲れているのに、家族を笑わせてくれます。私はこの家族が大好きです。

上豊富小学校 六年 和田 歩乃実



「はじめてのお料理」

私は、一学期に家庭科の宿題で、「野菜いため」と「スクランブルエッグ」をつくりました。私がつくった料理を家族は「おいしーよ。上手にできたね。また作ってね。楽しみにしているよ。」と言ってくれてとてもうれしくなりました。私は、家族とご飯を食べることはとてもおいしく感じたり、幸せを家族みんなに運んでくれたりすると思えました。私もまた料理をつくりたいし、食べられるときは家族で、ご飯を食べたいです。

成仁小学校 六年 寺嶋 友香